

中央区役所周辺のまちづくり第2弾ワークショップの結果のまとめ

1 ワークショップの目的と内容

(1) ワークショップの目的

プロジェクト①「中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル」の施策の方向性に基づく取組を行政と協働で推進するため、事業敷地における施設配置に係る意見を地域住民の皆様からいただき、中央区役所周辺のまちづくりにつなげることを目的としました。

(2) 開催概要

開催日：令和元年12月22日（日） 参加人数：18名（公募による応募者6名）

座学：中央区役所周辺の公共施設再編の検討状況、公共施設再編に向けた施設配置の検討の視点

個人ワーク・グループワーク：各ゾーンに入る施設の選択理由、過ごし方のイメージ、事業敷地における各施設の位置・理由、合築する施設・施設配置のコンセプト

2 ワークショップにおける各班の結果の概要

	1班	2班	3班
概略配置図			
施設配置に係る主な意見	<ul style="list-style-type: none"> • 芸術のまちとして与野をアピールするため、文化センターと図書館を駅近くに配置。 • 駅からの動線を確保するため、鴻沼川沿いに緑道を配置し環境空間緑道に繋げる。 • みんなが集まる場所で世代間交流を育むため、老人福祉センターと児童センターを広場・公園に隣接して配置。 • 東西の敷地を繋ぐため、施設の2階をデッキで接続。 	<ul style="list-style-type: none"> • 建物があって公園があるのではなく、公園や緑の中に建物があるイメージ。 • 図書館をまちづくりの中心と考え、全体の結節点とするため敷地の中心に配置。 • 民間駐車場を旧与野公民館敷地（飛び地）に配置し、民間に貸付。 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅方面からの新たな顔とするため、公園を駅近くに配置。（公園は鴻沼川を活かして親水公園として利用、ボールを使える空間やエアートランポリン等の新しいものを導入。） • 川沿いを散歩できるように、散策路を鴻沼川沿いに配置。 • 子どもとお年寄りが公園に出やすくするため、老人福祉センターと児童センター等を公園に隣接させて配置。 • 住宅地に配慮（日当たり等）し、施設を住宅地から少し離れて配置

3 ワークショップの結果のまとめ

- 公園や緑道を駅から敷地までを繋ぐ機能として配置【全班共通】
- 公園や広場を各施設を繋ぐ機能として配置【全班共通】
- 大きなオープンスペース（公園・広場）を鴻沼川沿いに配置【全班共通】
- 区役所を北東（法務局南側）に配置【全班共通】
- 図書館とカフェ（飲食施設）を合築【全班共通】

- 老人福祉センターと児童センターを北西に配置し、広場・公園に隣接させる【1班、3班共通】
- 旧与野公民館敷地（飛び地）に駐車場や多目的スペース（マルシェ等）を配置【2班、3班共通】
- 民間施設として“カフェ、貸しスペース、スポーツジム”を配置【1班、3班共通】
- 老人福祉センターと児童センターを合築【1班、3班共通】
- 老人福祉センターと公民館を合築【2班、3班共通】